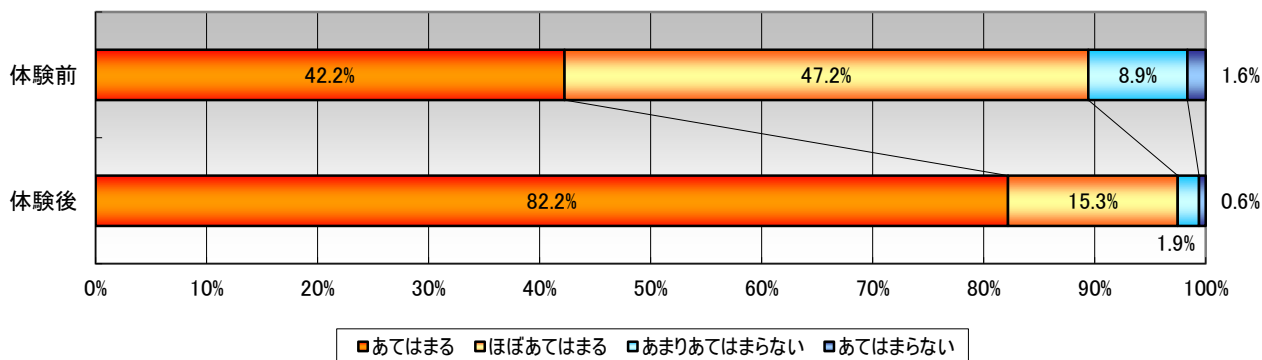


令和元年度中学生チャレンジウィーク アンケート 結果

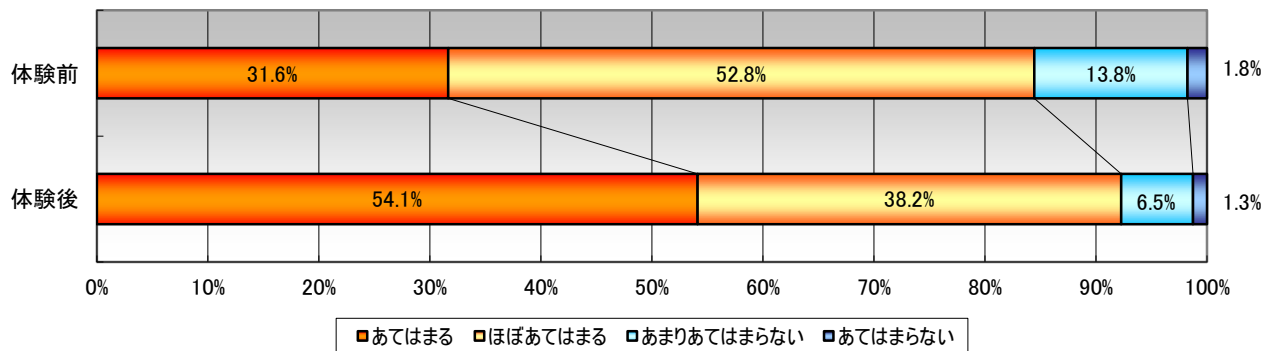
調査・まとめ	滋賀県教育委員会
調査時期	令和元年12月末現在
対象校	抽出 28校(1月末現在、実施済み99校中) 各市町教育委員会に設置学校数に応じて調査を依頼
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・中学2年生 約1800人 (事業の事前(体験前)と事後(体験後)に実施) ・保護者 約1500人 (事後のみ) ・受け入れ先 約900人 (事後のみ) ・教職員 約200人 (事後のみ)
調査方法	記述式(選択・自由)によるアンケート調査

(1)生徒アンケートの結果

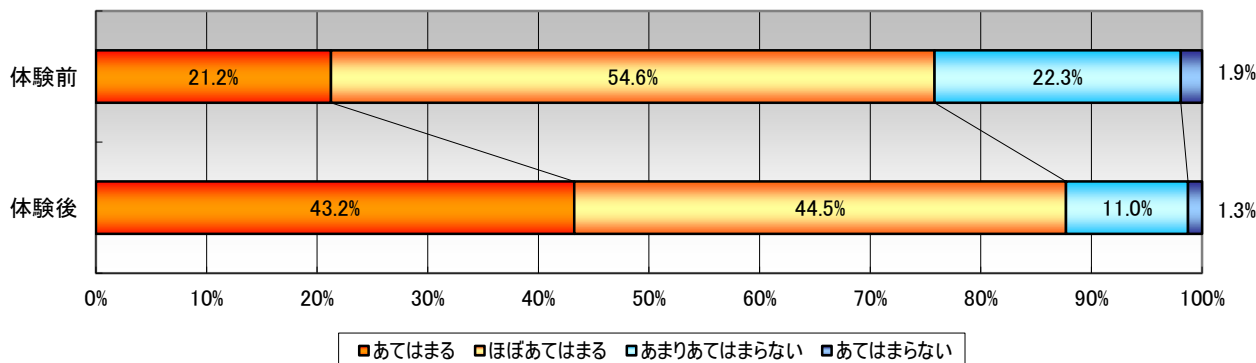
1 働くことの大切さや苦勞がわかる。



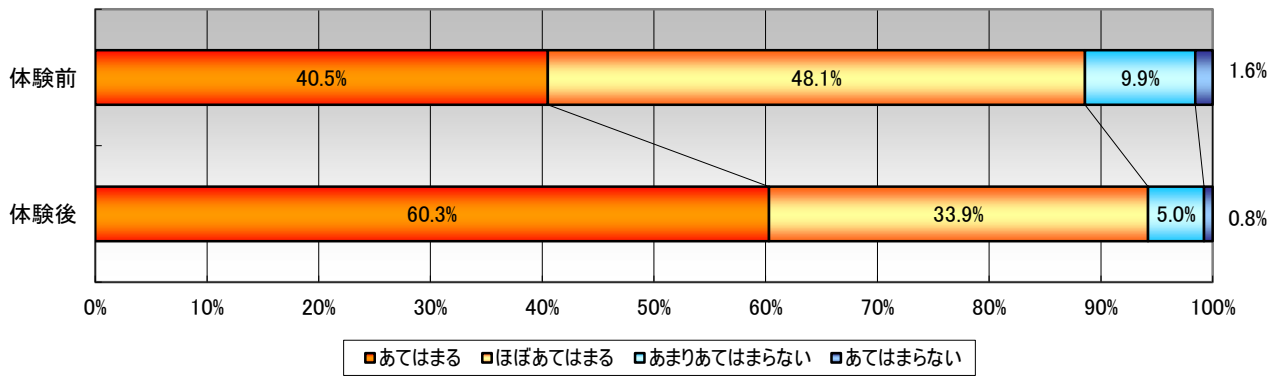
2 学習に前向きに取り組んでいる。



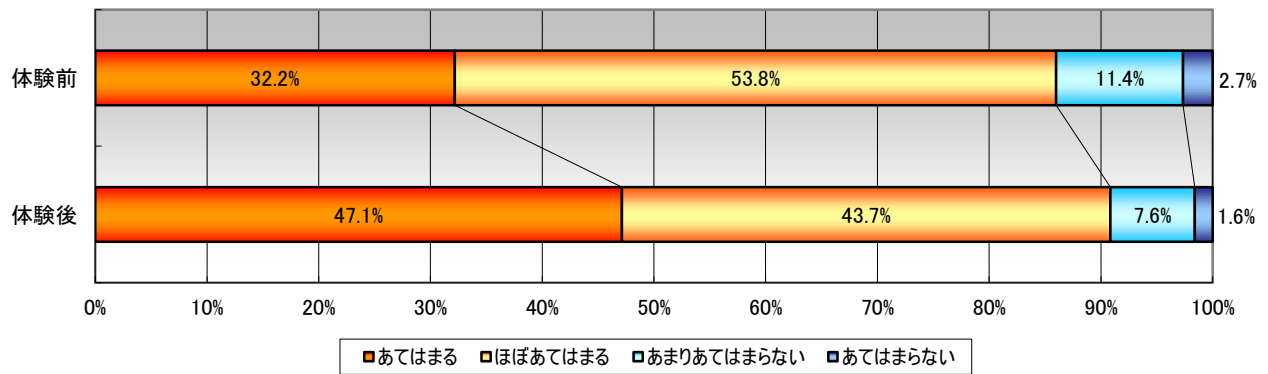
3 不得意なことや苦手なことでも最後までやり通している。



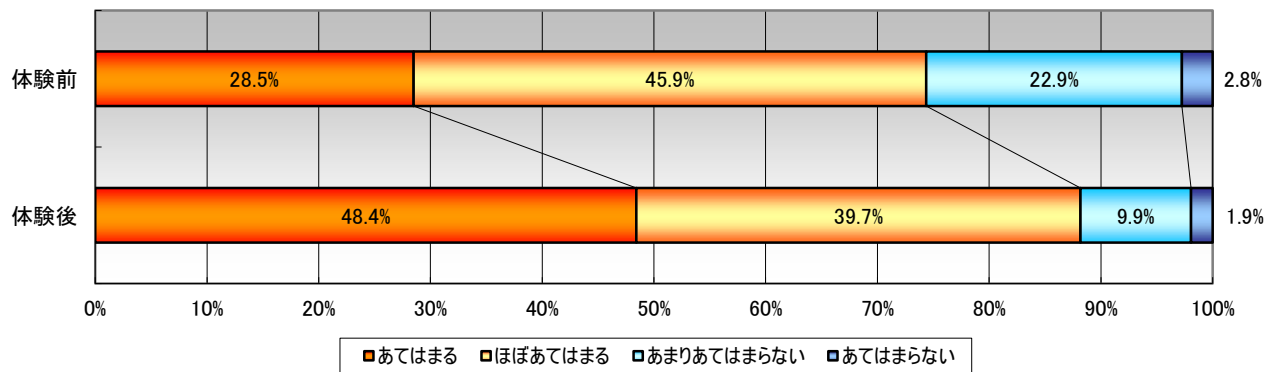
4 周囲と力を合わせて掃除や係の仕事をしている。



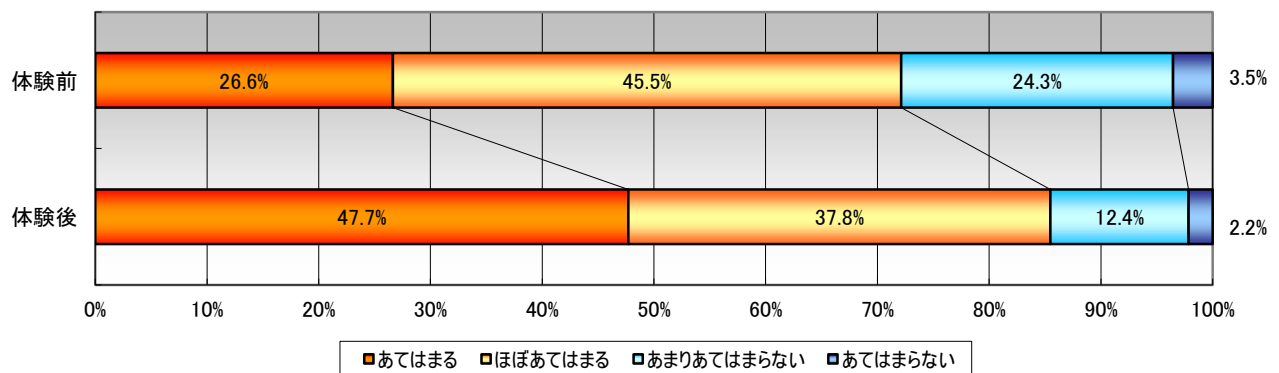
5 自分のよさがわかり、自分と異なる意見を理解しようとしている。



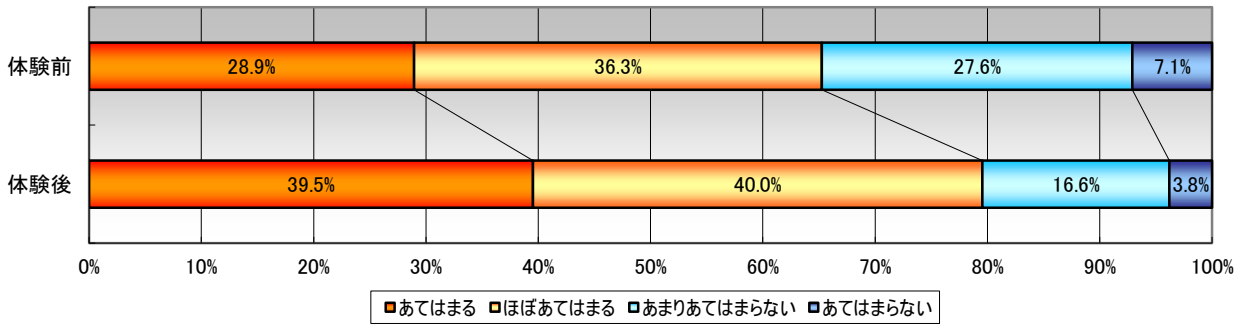
6 学校で学んでいることと社会のしくみがつながっていることを理解している。



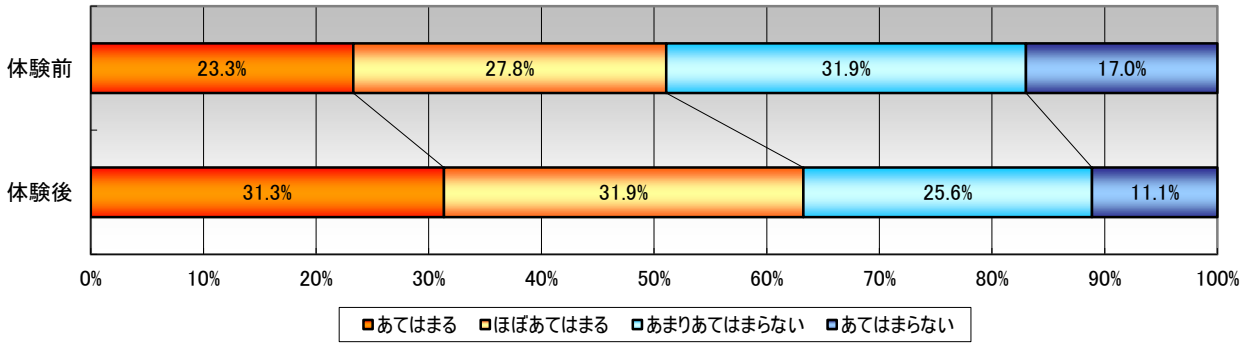
7 わからないことは、自分から質問をするなどして解決しようとしている。



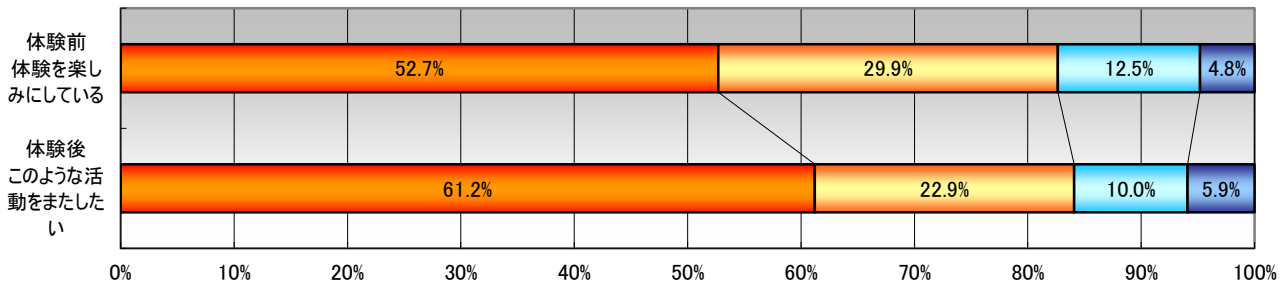
8 自分の進路やつきたい職業などについて考え今しなければならないことを理解している。



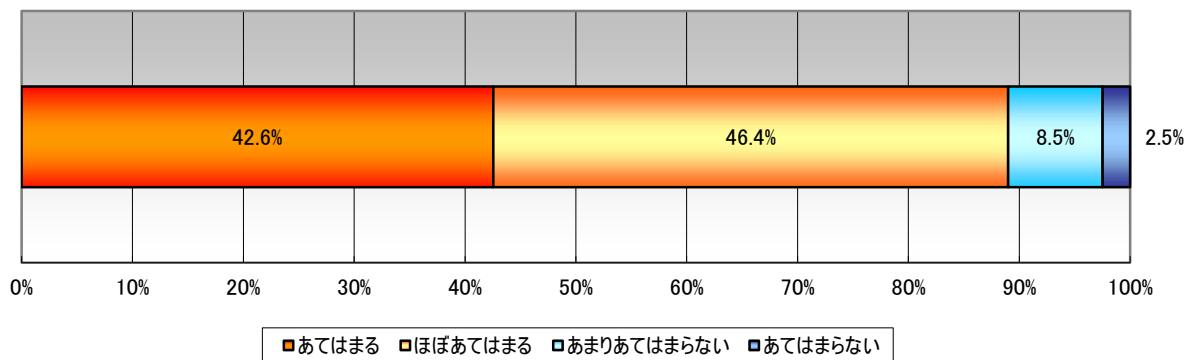
9 働くことについて、親(保護者)と家庭で話をしている。



10 職場体験を楽しみにしている。

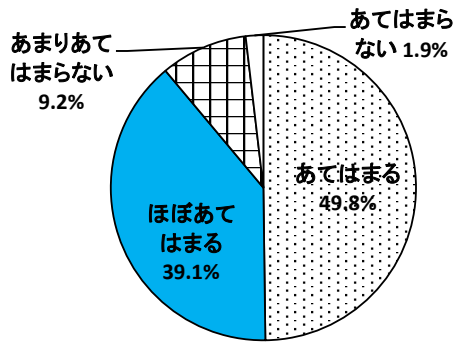


11 職場体験で自分のよさや適性などを発見したり、確認したりできた。

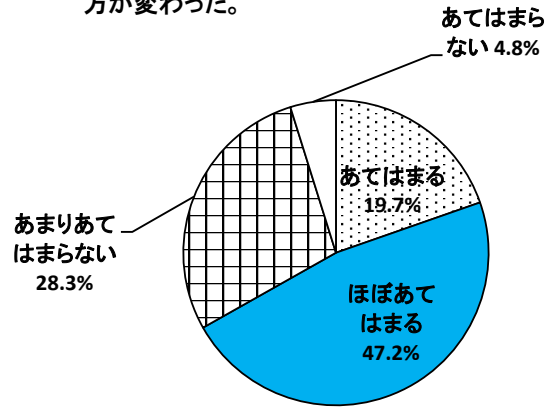


(2)保護者アンケートの結果

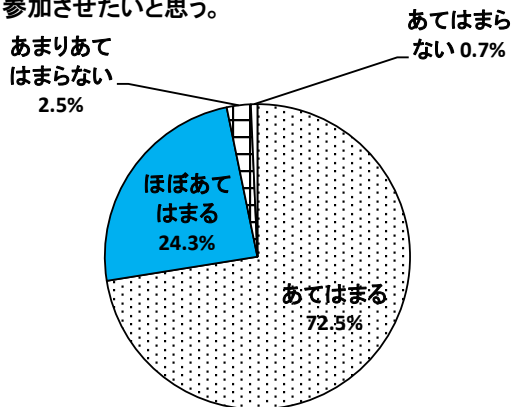
12 職場体験「中学生チャレンジウィーク事業」を通して、お子さんとこの活動について話し合った。



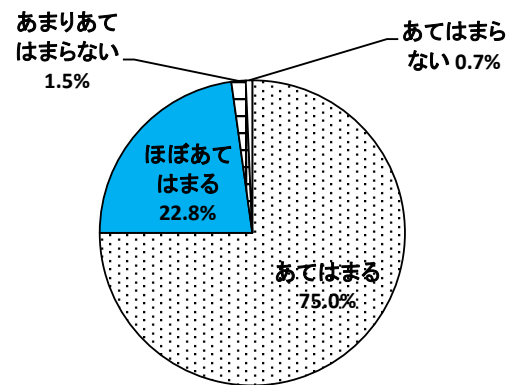
13 この活動を通して、お子さんに対する見方が変わった。



14 この様な機会があれば、またお子さんを参加させたいと思う。

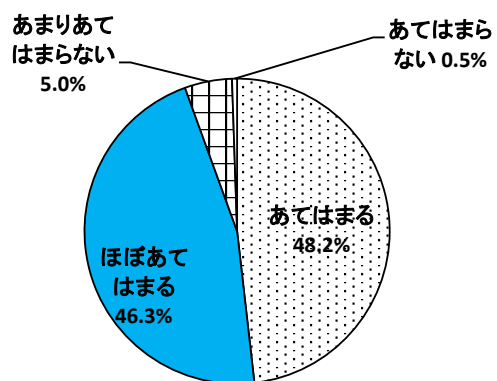


15 このように職場体験などを通して地域社会で子どもたちを育てる活動に賛同する。

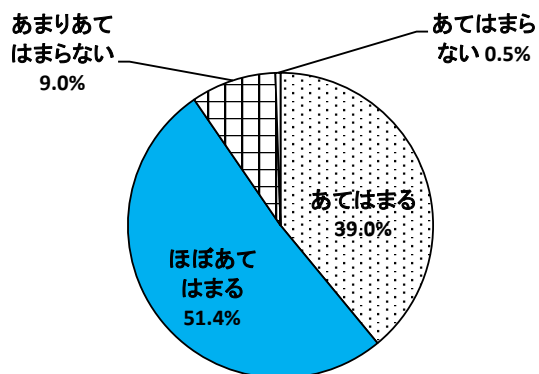


(3) 受入先アンケートの結果

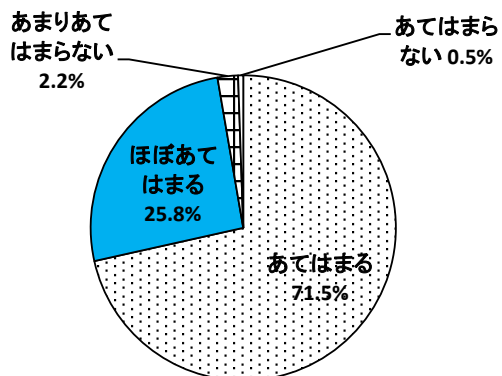
16 職場に来た生徒たちの取り組み方は積極的であったと思う。



17 この5日間の職場体験を通して、生徒たちに変化が見られた。

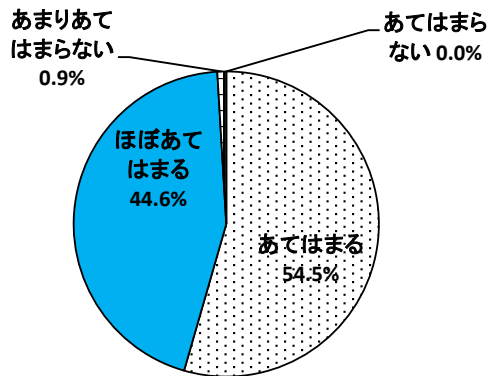


18 今後も職場体験として、中学生を受け入れる機会があれば協力したいと思う。

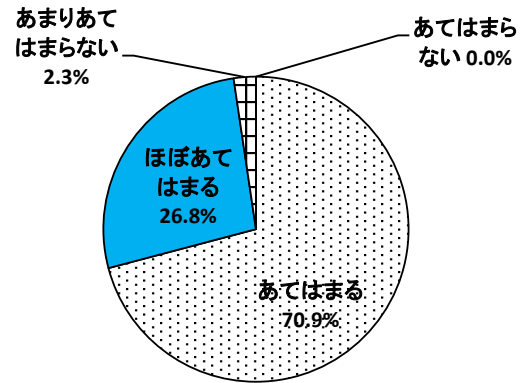


(4)教職員アンケートの結果

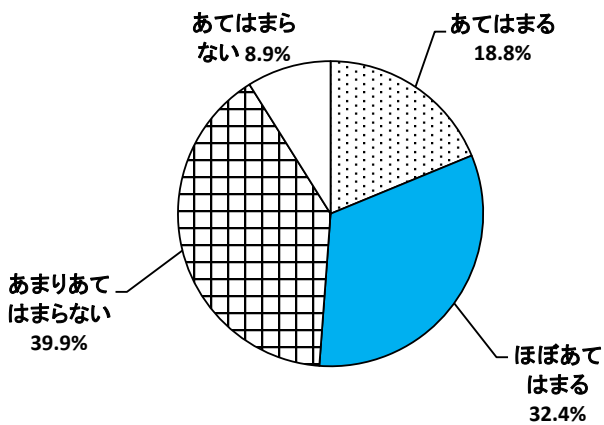
18 生徒一人ひとりを大切にしたい取組ができ
たと思う。



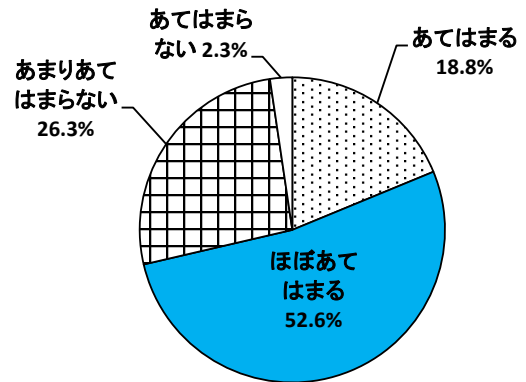
19 5日間の職場体験は、学校と社会をつな
ぐ活動であったと思う。



20 職場体験の実施にあたり、各教科にお
いて関連した内容を指導している。



21 この5日間の職場体験を終えて、生徒
たちの日常生活に変化が見られた。



【自由記述の抜粋】

■生徒アンケートより

身に付ける4つの力

【自己を理解する力】

・細かい作業でも少し速くできるようになったことがうれしかったです。以前よりも時間を気にするようになりました。

・もっと自分の知識を広げようと努力するようになりました。

・自分の得意なこと、苦手なことに気付くことができました。

・自分にはこの仕事に向いているなと気付きました。

・声だしが苦手で、あまり声は出なかったけれど、職場体験が終わってから、はきはきと声が出るようになりました。

【課題に対応する力】

・自分から進んで仕事ができるようになりました。次に何をしたらいいのかなど考えられるようになりました。

・忍耐力が付きました。

・何事もすぐにあきらめず、しっかり最後までやり遂げることが大切だと気付きました。

・大変なことでも協力してやり遂げると達成感が凄かったです。お店で働く方の小さな気遣いに気づくようになりました。周りの人と協力しようという気持ちが増しました。

【他者を理解し協働する力】

・我慢しなければならなかったり、他の人のことを考えたり、今まで以上に周りのことを考えるようになりました。

・人とのコミュニケーションをとるのが大変だとわかったので、これからはまだ話したことがない人とのコミュニケーションをとりたいと思いました。

・初対面の人にもあいさつがしっかりできるようになりました。また、分からないことを質問できるようになりました。

・上手に接客をすることができなかったのに、お客様に「ありがとう」と言ってもらえると、本当にうれしくなりました。

【将来を設計する力】

・自分には将来の夢がなかったけれど、職場体験を通じて、多くの人と関わる仕事につきたいと思いました。

・仕事の大変さや感謝することの大切さを改めて感じました。

・職場体験に行く前は「働くなんて楽だ」と思っていたのですが、やってみたら全然楽しなかったです。今勉強のことでへこたれてはいけなないと思いました。

・将来について少し考え始めるようになりました。

・働くことは、思っていたよりも責任が重くしんどいけれど、事業所の方のお話を聞いて、生きがいを感じられる大切なものだと思うようになりました。

■保護者アンケートより

- 将来の職業を選択していく上で、今回の体験も生かされると思います。働くことの大変さも少しは感じられたかな？短い期間なので、職場の方にはお世話になるばかりだったのではないかと思います。また、こういう機会があれば、違う職種も体験してほしいと思います。
- 実際に子どもに提案されて、職場体験させていただいているお店に、家族で食事に行きました。お店の方のお声も頂戴いたしましたし、家にいる時との様子の違いにおどろきました。少し成長した姿を実感しています。大変貴重な体験でした。ありがとうございました。
- 毎日楽しいと言いながら通えたので、良かったと思います。疲れたとか大変というようなことは、口にしませんでしたが、朝なかなか起きられなかったり、夜も早めに寝たりと、初めての経験で緊張していたんだと思います。
- 与えられた仕事を、根気よく続けられていたみたいで、疲れても最後までやることの大切さを学べたんだと思います。自転車で遠いところまで文句を言わずに行けたので、よく頑張ったと思います。
- 学校ではなかなか経験できないことが体験できて、仕事の大変さ、楽しさが感じられて良かったと思います。今後、自分たちの職業を決めていく時に、今回の経験がまた参考になると思うので、お世話になった事業所の方々に感謝したいと思います。
- 初めての体験で、緊張もしていましたが、楽しみ！の方が勝っていたのでとても安心しました。最後まで弱音を言わず、責任をもってやりとげたことに成長を感じることができました。
- 社会に出て働くことの大変さを実感したようです。腰が痛くなったり、肩が凝ったり、身体的にも精神的にかなり疲れたようです。でも、自分の担当していた仕事が役に立ったり、「ありがとう」と言われたりしたときは本当にうれしかったと話していました。
- たくさんの貴重な体験をさせていただき、子どもの視野が広がったと思います。何も知らない中学生を職場に招き入れるのは並大抵の事では無かったと思います。とてもありがたいことだと思います。
- お年寄りに喜んでもらえるレクリエーションを考えたり、いつも家にいる曾祖母のことを、「ばあちゃんもデイサービス行った方が絶対元気でいれるで。」と話していたりしていたのが印象的でした。今まで介護という職業に全く興味をもっていなかったけれど、何日目かに「介護の仕事やってみたいと思った？」と聞いたら考えていたので、この体験はすごくよかったですと思いました。
- 5日間でしたが、仕事の厳しさ、大変さを肌で感じる事ができたようです。貴重な体験を受け入れてくださった事業所の方々には、感謝します。
- 職場体験で、勉強以外に、人との接し方やマナーを教わる事ができ、本人にもいい体験だと思います。この5日間、楽しい時間を過ごせたことが話からとても伝わり良かったと思います。
- 毎日帰ってくると、子どもの方からその日してきたことを家族みんなの前で、とてもイキイキと話してくれました。この頃あまり話さなくなっていたので、何かが変わった様でした。このように貴重な体験をさせていただきありがとうございました。
- 職場体験や地域を通して、多くの人と関わり、たくさんの経験ができるのは、貴重なことだと思います。いずれ社会に出るときのヒントになれば良いなと思います。
- 働くことが大変だと感じ、できることをがんばった達成感とうれしかったことを聞かせてくれました。ご協力いただいた体験先の皆さんに感謝しています。
- 毎日「疲れた」と言いながら帰ってきたが、体験先での出来事を話してくれて、その会話が新鮮で楽しそうで、素直に頑張っていたのだと嬉しく感じました。

■保護者アンケートより

- 働くことの大変さを感じてくれたようで、普段の自分の生活や親への気持ちも変わったのか、体験中のお弁当箱を洗って、「明日もお願いします。」と言うなど、これが一時的であっても、本人の気持ちに少なからず変化をもたらした経験であったのだと思います。こういった非日常的で、体験しがたい経験をさせていただき、感謝しています。
- 最初の不安な表情から日に日に自信と楽しさ、また大変だけど達成した表情を感じられました。また普段よりたくさん話すようになり、家でも気づいて手伝ってくれることが増え、本当に良い経験ができたようです。
- 普段はこちらから聞かないと学校の話をしてくれなかったのですが、職場体験期間中は今日何をしたとか、何を食べたとか自分から話をしてくれました。すごく楽しかったようでよい経験ができたと思います。
- 最初はすごく疲れた様子でしたが、何日か経つと幼稚園の子どもが飛びついてきてくれてかわいいと喜んでいました。いつもは積極的ではないので、最終日には折り紙をプレゼントすると言って自分たちで考えて行動していたことに驚きました。
- 充実した5日間を過ごせたように思います。いろいろな部署を見せていただき、体験させていただいたことで、仕事は多くの社員の力で成立していることが少しでも理解できたかと思えます。
- 保育園の子どもたちが、甘えて頼ってもらえて、自分が責任ある仕事をしているという自覚ができたようです。遊ぶだけにならないように「怪我はさせたらダメだよ」と声かけをし、「しっかり、安全に」と、いつも会話をしていました。
- 初日は「働くのって大変！」と言っていましたが、日に日にやりがいを感じるようになっていったそうで、働くということはどういうことなのか、子どもなりに実感したのではないかと思います。
- 職場体験を通して親の職業にも関心をもち、父親の仕事もみたい、一緒にしたいと言っていたのがほほえましかったです。
- 病院での経験は普段できないことばかりで、仕事に対する興味が広がればと思います。
- 仕事ということに対して経験することで想像が現実になるとこれからの生活についても物の見方が変わってくると思うので、急激ではないが少しずつ意識が変わってくると思います。
- 知らない方々の中で自分のおかれている立場等を考えるきっかけにもなり、よい体験になったと思います。本人も視野が広がりよかったですと思われます。これからもこのような活動を通して自分をみつめてほしいです。
- 慣れない事に不安などあったと思いますが、不満や文句を言わず最後まで頑張りました。色々な年齢、考えの違う人達と関わった事で、ひとつ成長できたと思います。
- 働くだけでなく、人との関わり方をずいぶん学んだと感じられ、とてもよい経験であると思います。今後も継続を望みます。子どもの成長と刺激ある発言が親にとっても勉強になりました。
- 仲の良い友だちとグループが一緒だったので、学校の延長の感覚でしているのでは？と思うようなことも聞いて、先生方にご迷惑をかけたので、「働くというのは、そういう場所ではない」と話をしました。少し取り組み方が甘いのでは？と私は思いました。

■受入先アンケートより

【印象に残ったこと等】

- 大変素直で、驚くくらいですが、製作準備をお願いしたところ、見本を見て中学生なりにアレンジできることなどを積極的に伝えてくれることも多く、豊かな感性が私たちの刺激になりました。
- 口数が少なく静かな第一印象とは違って、すれ違う人みんなに挨拶をする姿、与えられて作業を予定時間よりも早く終わらせる姿、3人で考え相談しながら取り組む姿勢など、最初の印象を大きく変えた3人の姿が好印象でした。
- 1. 2日目は、何をしたいかわからず、配属のクラスの職員から頼まれた仕事をする姿が多く見られましたが、後半になると「今、何かする仕事ありますか？」と自分から尋ねてきたり、進んで園児らと遊ぶ姿が見られました。
- 初めは緊張が見られましたが、徐々に慣れ、笑顔が増えました。お願いした仕事は5人で分担して進んで取り組めていました。毎日のおもちゃの消毒や掃除機がけも丁寧で素晴らしかったです。最終日が近づくにつれて、「もっと来たい」「さみしい」と名残惜しい様子でした。
- 日々異なる与えられた作業を熱心に取り組んでくれました。特に後半の検査部門では、色々な測定器を使って行う作業を早く理解し、測定体験してくれました。
- 学校と違うところで、緊張しながらも日々表情が柔らかくなり、子どもたちとも積極的にかかわり、頼んだことにも素直に受け入れ取り組もうとする姿が印象的でした。挨拶が、大きな声で元気がよくて、気持ちよかったです。
- 終了5分前でも、「何かすること、ありますか？」と、積極的に最後まで仕事に向き合うことができました。また、自分が疑問に思うことは素直に質問したりして、周りのスタッフとも良いコミュニケーションをとることができました。
- 私たち自身も初心を思い出すよい機会になりました。
- 毎日少しずつ作業が早くなり、指示されたことだけでなく、もっと自分たちにできることはないかと考え実行してくれました。接客中、生徒さんがとてもよい笑顔で商品の受け渡しをしているのを見たお客様も、笑顔の伝達でニコニコとお帰りになるのを何度も拝見しました。
- 最初は障がい者の対応で戸惑われたところもあったと思いますが、基本的な部分で障がいがあるなしに関わらず、自分がされてうれしいこと、嫌なことは同じである、ということを自然に素直に受け止めてくれているように感じました。大変真面目に取り組んでいました。
- 難しい仕事にも積極的に取り組んでいました。最初のうちは上手くできなくてもあきらめずに楽しそうに挑戦していました。お願いした仕事が早く終わると、次は何をすればいいか自発的に指示を仰いでくれたことも印象に残っています。
- 若いので教えてもすぐに覚えてよかったが、少し目を離すと危ないことをしている時がありました。こちらの注意説明不足もあったが、今後も一人ひとりを見るのは大人であるので、責任をもって見守りたいです。
- やらされ感が強い生徒さんもおられ気になりました。
- 最終日に、集中力が途切れてしまったシーンがあり、積み重ねてきた信頼が、一つの事で崩れてしまうこともあるという話をしました。

【ご意見】

- 将来、生徒達がどのような進路に進むか分かりませんが、今回の職場体験を通して、人と関わることの大切さや、将来の夢や目標を定めるきっかけとして、今回の職場体験を是非忘れないでいただきたいと思います。
- 中学生が想像できる範囲でいいので、やりたい仕事やできる範囲のチャレンジ・目標を1つ考えてきてもらえると、こちらからの問いかけで「今日はそれができたのか?」、「明日はもっとできるようになろう」と、成長につながる関わり方ができると思います。
- 事前の打ち合わせの時に、すごくこちらのことを考えた質問をしてくださったのが、素晴らしいと思いました。しっかり練習してきたんだろうなと感心しました。
- 事前打ち合わせがもう少しあれば、より充実した職場体験ができるのではないかと思います。
- 地域の仕事を知る良い体験の場になれば、と思っています。
- 受け入れ先として、あまり作業内容は多くないが、私どもの年中行事として、近頃の中学生の実態を見るためにも、成長していく子どもたちとふれ合うことは大事なことと考え、希望して来てくれる子どもがいる限り、学校行事に協力したいと思います。
- こういう活動をしてみたいと思っていることがあるなら教えてほしい。
- 社会貢献の一環としても今後も必要だと考えます。
- 夏休みのボランティアにもぜひ来てほしいです。
- 体験される側、受け側、どちらにとっても貴重な体験だと思いますので、今後とも受け入れさせて頂きます。
- 常に仕事があるわけではなく、画一的な作業でもないので、毎年受け入れようか悩みますが、地域と生徒のためと思い、受け入れています。
- 学校で指導されている職場体験の趣旨や心構えについて、事前に情報をいただけるとこちらで指導がよりスムーズになるかと思えます。
- 日頃体験できない事、仕事の大変さ楽しさを学んでもらうととてもいい機会だと思います。受け入れる側は、取り組んでもらう内容が限られたり、また指導に人が取られたりで、なかなか大変だと思いますが、なるべく生徒たちは地元で体験できればと思います。
- こちらが体験させていることが、本人たちにとってどれくらい意味のあるものになっているかわかりませんが、他の事業所と比較してどうなのかを聞かせていただければ、受け入れる側として、次回からの参考になります。
- 「チャレンジウィーク」の取り組みについての意義は理解するけれど、スタッフが少なくなったため、受け入れが続けられるか難しい状況です。
- 不慮の事故等、安全面が心配です。
- こちらが説明・指導する際、返事ができていないのが少し気になりました。
- 月末をまたぐ実施は控えてほしいです。
- 5日間の職場体験は長く感じます。3日くらいにして欲しいです。
- 毎年開催時期が違うので、できれば5～6月にしていただけるとありがたいです。
- いい加減な姿勢で来られることのないようにご指導をお願いします。
- 近隣学校と職場体験の時期が重なると、受け入れが難しくなるので、時期をずらして実施してほしいです。

■教員アンケートより**職場体験の事前・事後の指導で、昨年度より充実させた内容****【事前学習】**

- 1年生より「夢の授業」などを計画的に行い、「生き方について」の学習を行っています。
- 「働くこと」の目的や意味について学ぶ機会を設定しています。
- 社会に出たときのマナーについて学んだり、アポイント電話の仕方を体感したりしました。
- 接遇について講師を招いて行っています。
- 道徳や家庭科とのクロスカリキュラムを行っています。
- 身近な人たちの仕事について調べる学習をしています。
- 「ものづくり講座」を実施し、マイスターの指導のもと実際に体験しています。

【事後学習】

- お礼状とレポートを制作して事業所に届けています。
- 職場体験で学んだことや仕事内容のスピーチを行っています
- プレゼン力を高めるため、パソコンソフトを用いて発表用コンテンツを作成しています。
- 「先輩に学ぶ」など学習を通して学ぶ機会を計画しています。
- 職場体験の報告は例年文化祭で行うが、実施報告だけに留まらず、次年度職場体験を行う1年生に向けて職場体験の意義等を生徒の言葉で伝える場を設定しました。

**職場体験学習を通して地域との連携が深まり、地域行事などで
中学生の活躍の場面が増えた事例**

- 公民館のイベントにボランティアとして参加協力しています。
- 消防署に体験に行った生徒は、市内の中学生でつくる「消防クラブ」に所属し、出初式や、防災イベント、防災訓練などへの参加をしています。
- 保育園への訪問ボランティアや地域へのボランティア活動をしています。
- 実施予定の夏のイベントや夏祭りなどに参加する予定の生徒が増えました。